

## 寅さん歩 その8-5

### 東京発祥之地めぐり～学問・文化編 6～

平野 武宏

2012年（平成24年）東京都に移住した寅次郎、歩いていて街の中で出会った「発祥之地」の説明板に啓発され、都内にある他の「発祥之地」を見つけて歩く「東京発祥之地めぐり」を始めました。「寅さん歩」シリーズもの第一号となりました。寅さん歩 11～23 及び 176 をご参照ください。

今回は新型コロナウイルス感染防止「緊急事態宣言」の「ステイホーム」でパソコンに残されていた写真を整理してまとめた「発祥之地」の続きです。

説明板は原文をそのまま記載しています。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[専修大学発祥之地]** 中央区銀座 3-14-13

最寄駅 浅草線 東銀座駅 A8



歌舞伎座裏の松屋通りの角に「明治会堂跡」の説明板がありました。「明治会堂」は1881年

（明治14年）福澤諭吉の発案で建設された演説会場です。後ろを振り返ると「専修大学発祥之地」の碑がありました。碑には「専修大学は明治13年9月6日東京市京橋区木挽町2-14に経済及び法律の専修学校として発足したことに始まる。創立者は相馬永胤、田尻稻次郎、目賀田種太郎、駒井重格の諸先輩で建学の精神は社

会に対する報恩奉仕であり、質実剛健、誠実力行は学風である」と記載。

専修学校は1882年（明治15年）までここで授業を行い、神田区中田楽町を経て1885年（明治18年）神田区今川小路（現在の神田キャンパス）に移転しています。神保町の神田キャンパスで「専修学校の黒門」（写真下左）を見つけました。説明板には「専修大学の前身である「専修学校」は、明治13年京橋区木挽町（現在の中央区銀座3丁目）に誕生し、明治18年7月神田区今川小路2丁目8番地（現在の神田神保町3丁目8番地）に移転し新校舎を設置しました。この当時の正門が黒漆で塗られた冠木門であったことから、「専修学校」の愛称

として黒門と呼ばれたものでありました。黒門は明治40年の校舍改築により姿を消すこととなりますが、その名称は現在の専修大学の象徴として生き続けています。専修大学創立130年に当り専修大学育友会のご厚意によりここに102年の時を経て黒門が復元しました。平成22年3月吉日 学校法人専修大学]と記載。



寅さん歩 201 東京の学食めぐり-9 をご参照ください。

**〔東京電機大学発祥之地〕** 千代田区神田錦町 2-2

最寄駅 新宿線 小川町駅

神田警察署近くに「東京電機大学発祥の地」の碑（写真下）を見つけました。



左の茶色の碑には「東京電機学校発祥の地 1907年9月1日、電機学校この地に設立さる 幾多の有為なる人材を世に送り その使命を今東京電機大学に託す」と記載。

正面には創立者の廣田精一、扇本真吉、大正時代の初期の校舍、第一回卒業式の記念写真の3枚が掲示。

右の白い碑には[東京電機大学 1949年4月開学 建学の精神「実学尊重」

教育・研究理念「技術は人なり」のもと学園創立100周年を経 さらなる発展を目指し 2012年東京千住キャンパスを開設し移転]と記載。

正面には東京神田のキャンパス、初代学長丹羽保次郎博士、東京電機大学発足時の教授陣、東京千住キャンパスの4枚の写真が掲示。

寅さん歩 214 東京の学食めぐり-20 をご参照ください。

**〔法政大学発祥之地〕** 千代田区駿河台 1-8 最寄駅 JR 御茶ノ水駅

駿河台 明大通りに「法政大学発祥の地」の説明板（写真左下）がありました。説明板には「法政大学発祥の地 法政大学の前身である東京法学社は、1880（明治 13）年 4 月、旧駿河台北甲賀町 19 番地池田坂上（現在、千代田区神田駿河台 1 丁目 8 番 13）に設立されました。翌年 5 月、東京法学社の講法局が独立して



東京法学校となり、その開校とともに日本近代法の礎を築いたフランス人法学者ボアソナード博士による講義が始まりました。その後、和仏法律学校を経て、1903 年 8 月、法政大学と改称されました。2011（平成 23）年 5 月 建立」と記載。下の図は発祥の地は現在の駿河台日本大学病院の敷地内を示しています。

寅さん歩 201 東京の学食めぐり-9 をご参照ください。

**〔歌曲 からたちの花 発祥之地〕** 豊島区南大塚 1-13-8

最寄駅 JR 大塚駅南口

新型コロナウイルス感染拡大防止の「外出自粛」で散歩は「3 密」を避けた自宅周辺となりました。自宅から 10 分以内の場所にある日本基督教団 巣鴨教会（写真右）の敷地内に北原白秋作詞、山田耕筰作曲の「歌曲 からたちの花 発祥の地」の碑（写真下右）を見つけました。同じ「からたち」の歌も島倉千代子の歌謡曲「からたち日記」ではありません



碑には「山田耕筰 歌曲 からたちの花発祥の地」と書かれ、右側に楽譜、♪からたちの花が咲いたよ 白い白い花が咲いたよ からたちのとげはいたいよ 青い青い 針のとげだよ からたちは畑の垣根よ いつも いつもとおる道だよ からたちも秋はみのるよ



まろいまろい 金のたまだよ からたちのそばで泣いたよ  
みんなみんな やさしかったよ からたちの花が咲いたよ 白い白い  
花が咲いたよ♪ の歌詞が、ひらがなで書かれていました。

碑の中の楽譜の左には山田耕筰の言葉  
が記載されています。

「枳殻（からたち）の白い花、青い棘  
（とげ）、そしてあの まろい金の実、  
それは自営館生活に於ける私のノス  
タルジアだ。そのノスタルジアが  
白秋によって詩化され、あの歌と  
なったのだ。 山田耕筰」

（ ）のふりがな は寅次郎が記載。



山田耕筰 [1930年（昭和5年）耕作から改名] は1896年（明治29年）医師で  
キリスト教の伝道活動をしていた父を10歳で亡くし、父の遺言で巢鴨宮下  
（現在の南大塚）にあった「自営館」という施設に入館しています。「自営館」と  
は苦学生に仕事を与え、自活させながら学校へ通わせるための施設で、巢鴨教  
会の初代牧師の田村直臣が芝白金に開館しましたが、耕筰が入館する2年前に  
現在の場所に移転しています。山田耕筰は13歳まで館内の活版工場で働きつつ  
苦学の生活を過ごしました。退館後は岡山の姉を頼り、西洋音楽の勉強を始め  
ています。「自営館」は経営難から1919年（大正8年）に廃止となり、その跡  
地に建つのが現在の「巢鴨教会」です。

碑は1999年（平成11年）当時の教会の関係者により建てられ、周囲に植えら  
れた「からたち」は福岡県にある北原白秋記念館から種を分けていただいたも  
のとのこと。

NHK連続テレビ小説「エール」で新型コロナウイルス感染症に伴う肺炎で  
3月29日死去した、お笑いタレントの志村けんが5月1日の放送に初登場して  
話題になりました。志村さんが演じるのは日本を代表する西洋音楽の大物作曲  
家の小山田耕三（モデルは山田耕筰）で主人公の古山裕一（モデルは古関裕而）  
の才能を認め、レコード会社に専属作曲家として推薦する一方で、古山の活躍  
が地位を脅かす存在になるのを恐れている役どころです。

新型コロナウイルス感染拡大で確認出来た発祥の地でした。

「外出自粛」で暇なのでネットで調べていたら、古関裕而は寅次郎の母校 藤  
沢市立藤沢小学校の校歌を作曲（作詞は西條八十）していることが判明。

校歌が思い出せなく「呆けた」と悩んだ寅次郎でしたが、制定は1964年（昭和35年）で寅次郎の卒業は1955年（昭和30年）3月でした。

## 【こぼれ話】 大塚は池袋をしのぐ繁華街だった!?

寅次郎が2012年（平成24年）生まれ育った湘南ふじさわから終の棲家として転居して来た豊島区北大塚は山手線大塚駅のすぐ近くです。

ものの本によると「大塚」の地名は文京区茗荷谷周辺をいい、山手線敷設時の新駅設置で池袋駅と巣鴨駅を結ぶ駅として現在の大塚駅が誕生したようです。

「外出自粛」で暇になり転居した頃に勉強した大塚の資料を読み返しました。大塚はかつては山手線北部最大の繁華街で、その名残は大塚駅南口交番の左先にある「大塚三業地通り」の入口看板です。「三業」とは、料理屋、芸妓置屋、待合のこと。大正末から昭和20年頃までの大塚は、三業がそろった繁華街でした。この通りは「谷端川」が流れていて暗渠になったとのこと。料理屋85軒、待合18軒が軒を連ねており、芸者さんの数は200名を超えたそうです。

「三業」だけでなく近くには映画館や寄席もあり、時代は違いますが北口（寅次郎の住む）には百貨店もあったとのこと。そのにぎわいは、池袋をはるかにしのいでいたそうです。しかし戦災で壊滅状態になり、戦後は新しくターミナルとして発展した池袋に繁華街の地位を譲り、三業通り沿いにはわずかに残る料亭などが昔日の面影を伝えています。写真下左は大塚三業地通りの入口、写真下右はわずかに残った料亭です。



転居して、まずは地元豊島区を学んだつもりでしたが、すぐに豊島区外の都内の名所旧跡に目と足を向けてしまったことを反省する寅次郎でした。

## 〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さんの東京 2020 オリンピック聖火リレー神奈川県コース（380 k m）と東京都コース（160 k m）のバーチャルウォークが F W A ホームページに「Y R・四季の道」に掲載されました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックは 2021 年に延期となり、予定の聖火リレーは中止となりましたが、バーチャルウォークの聖火リレーは健在です。

5 月 14 日 神奈川県コースを完歩した寅次郎、東京都コース（160 k m）に挑戦、世田谷区駒沢のオリンピック公園をスタート、まずは都下に向かいました。

5 月 20 日現在、世田谷区、狛江市、稲城市、町田市を経て多摩市（13.4km 地点）に到着しました。

次は日野市へ向かいます。



しばらくは新型コロナウイルスの感染拡大防止で例会が中止ですので、お散歩の距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

F W A の H P 「Y R・四季の道」には多くのバーチャルコースが掲載されています。歩く際は密閉・密集・密接の 3 密にならないようご注意ください！

平野 寅次郎 拝

次回は東京に こんなところ です。